

交流

韓国芸術総合学校との交流

日韓友情年の二〇〇五年、美術学部と音楽学部はそれぞれ、韓国芸術総合学校と日韓の友好交流をさらに促進する催しを行った。

韓国芸術総合学校は一九九三年に創設され、音楽院、演劇院、映像院、舞踊院、美術院、伝統芸術院を設けている。

十月二十八日、音楽学部は、同学校音楽院から指揮者とソリストを迎えて、「友好交流学生オーケストラ演奏会」を開催し、美術学部では、十一月二十九日～十二月十一日まで、同学校との交流展を大学美術館において開催した。

平成十三年に同学校音楽院と国際交流協定を結んでいたが、十二月六日、さらに交流を深めるため、韓国芸術総合学校と全学的な協定を締結した。

大学間国際交流協定締結

十月十日にミマル・シナン美術大学（トルコ）と、十一月二十四日には新疆芸術学院（中国）と本学が芸術国際交流協定を締結した。今回の調印により本学における交流協定締結校は十三カ国（地域）二十九大学等となった。

国際交流会館で

地域の方々と交流会開催

十一月十七日、松戸市にある本学の国際交流会館では、入居している外国人留学生、チューター、外国人研究者及び本学の関係教職員と地域住民等が一堂に会し、生

活上の問題に関する意見交換などを行うことにより、相互の理解を深め、国際交流の推進に資するための交流会が行われた。

受賞・受賞

山本正道教授が  
紫綬褒章を受章

平成十七年秋の褒章において、本学美術学部彫刻科の山本正道教授は、紫綬褒章を受章した。

嶺貞子名誉教授が  
イタリアの連帯の  
星勳章を受章

十月十二日、本学の嶺（峰村）貞子名誉教授は、イタリア大統領から日本に於ける長年のイタリア文化の振興に貢献したとして、イタリアの連帯の星勳章（コメンダトーレ）を受章した。

宮田学長が瀬戸山賞を受賞

十月三十一日、宮田亮平理事・副学長・教授（現学長）が、法務省主催「社会を明るくする運動」や更生保護に対する深い理解を示しその普及・啓発に尽力したとして第七回瀬戸山賞を受賞した。

運営

大学院音楽研究科に  
音楽文化学専攻、  
大学院映像研究科には  
メディア映像専攻を設置

東京芸術大学では、平成十八年四月から大学院音楽研究科音楽学

専攻を改組し、音楽学、音楽教育、ソルフェージュ、応用音楽学、音楽文芸、音楽音響創造、芸術環境創造という七つの研究分野から構成される「音楽文化学専攻」を設置する。

また、平成十七年四月に開設し、前号で特集した大学院映像研究科に二つ目の専攻として、平成十八年四月から「メディア映像専攻」を設置する。

（学生定員など）

大学院音楽研究科音楽文化学専攻

学生入学定員 三十五名  
教員数 二十四名  
キャンパス 上野校地及び千住校地

千住校地（足立区千住一 二一五）は、足立区と本学との協定に基づき、録音スタジオや音楽療法室などを備える充実した研究施設として、平成十八年九月オープンの予定。

大学院映像研究科メディア映像専攻

学生入学定員 十六名  
研究分野と専任教員の氏名及び担当領域

コンテンツ創造研究分野

藤嶋正樹教授

（メディア・アート領域）

佐藤雅彦教授

（メディア・デザイン領域）

コンテンツ科学研究分野

桐山孝司助教授

（コンテンツウェア領域）

桂英史助教授

（メディア文化財領域）

（寄附講座）

コンテンツ産業研究分野（コンテンツ産業領域）  
キャンパス 横浜市中区本町四十四（旧富士銀建物）横浜市中区新港二五（旧新港客船ターミナル）

森鷗外訳オペラ、  
本邦初の本格的上演

森鷗外が翻訳した、グルツク作曲のオペラ「オルフェオとエウリディーチェ 全三幕」が「オルフェウス」は、大正三年（一九一四）にグルツク（一七二四～一七八七）の生誕二百年を祝って、その誕生日である七月二十一日に上演しようとしたが、第一次世界大戦が勃発するなど不幸な事情が重なって森鷗外の訳詞は舞台にかけられることなく、活字としてのみ今日に伝えられた。

九月十八日、十九日、九十年あまりの時を経て、それが初めて音楽堂において本格的に上演され、両日とも立ち見ができるほど盛況で好評を博した。上演後は、関係各方面からも賞賛の声が寄せられた。

藝大フレンズ ゲネプロ  
見学会 特別鑑賞会を開催

十月八日、平成十七年四月から創設された大学サポーター制度である藝大フレンズの加入者を対象に音楽堂でのオペラ・ゲネプロ見学会および大学美術館での特別鑑賞会（アート・バイ・ナイト）が行われた。また、特別鑑賞会は、吉村順三建築展の会期中も二回開催された。

東京芸術大学  
第九代学長に  
宮田亮平理事が就任

十二月二十一日、任期満了となった平山郁夫東京芸術大学前学長の後を受け、宮田亮平理事（教育担当）・副学長・教授が第九代学長に就任した。宮田学長は、専門分野が鍛金。就任にあたり、「伝統は改革によって成り立つことを示すとともに、現場の声をよく聴き、くみ取ることを実践し、世界と肩を並べていける大学にしたい」と抱負を語った。任期は平成二十二年三月三十一日まで。

芸大通信の表紙には、その時々  
のさまざまな賞の受賞者の写真や作品  
を使い、毎回デザイン科の蓮見智幸  
先生にまとめていただいている。  
前々回の第10号の表紙を飾って  
いたのは、宮田亮平先生の「シュ  
プリングン」(日本銅センター賞受賞)。  
宮田先生が「シュプリングン」シ  
リーズでイルカをモチーフにしている  
ことは、広く知られている。

宮田先生が今回東京藝術大学長に  
選出された。1945年生まれの先  
生は、「跳びはなっていく」という「  
シュプリングン」という言葉通りに、  
キャンパス内を自転車で走り回り、  
専門の「鍛金」と背中にかかれた学  
生用の特別製ジャンパーを着こんで  
闊歩している。この若き行動派の学  
長に、芸大への夢と熱い思いいを  
語っていただいた。

芸大通信編集長  
舩山 隆

#### \*お知らせ

平成17年11月1日から本学の電話番号が  
変更になりました(取手校地を除く)。  
詳しくは本学公式ホームページ  
(<http://www.geidai.ac.jp>)をご覧ください  
か総務課(050-5525-2013)までお尋ね下  
さい。

展覧会・演奏会の最新情報は、東京芸術大学公式ホ  
ームページ(<http://www.geidai.ac.jp>)をご覧ください。

#### 展覧会についてのお問い合わせ

東京芸術大学美術館 Tel 050-5525-2200  
NTTハローダイヤル Tel 050-5725-2300

#### 演奏会についてのお問い合わせ

東京芸術大学音楽学部演奏企画室 Tel 03-5685-  
7700

#### 演奏会チケットの取り扱い

チケットぴあ Tel 0570-02-0990  
東京文化会館チケットサービス Tel 03-5815-5452  
東京芸大美術館ミュージアムショップ Tel 03-  
5685-1176

新体制の役員などは次のとおり。  
役員(十二月二十一日発令)

学長 宮田 亮平  
理事(教育担当)・副学長・教授 渡邊 健一  
理事(研究担当)・副学長・教授 田淵 俊夫  
理事(総務担当)・副学長・事務局長 太田和良幸  
理事(学長特命担当) 玉井 賢一  
(財)文化財保護・芸術研究助成財団専務理事

経営協議会(十二月二十一日発令)

理事(総務担当)・副学長・事務局長 太田和良幸  
理事(学長特命担当) 玉井 賢一  
(財)文化財保護・芸術研究助成財団専務理事  
外部委員 (株)三越 代表取締役会長 中村 胤夫

教育研究評議会(十二月二十一日発令)

理事(教育担当)・副学長・教授 渡邊 健一  
理事(研究担当)・副学長・教授 田淵 俊夫

学長特命担当(新設)(十二月二十一日発令)

美術学部教授(教育研究評議会評議員) 池田 政治  
音楽学部教授(教育研究評議会評議員) 守山 光三

#### 藝大フレンズ加入者状況

加入者数(平成十八年一月三十  
一日現在)  
賛助フレンズ個人一五三名 法人  
四団体  
特別賛助フレンズ個人一八名 法

#### 「藝大」アートプラザがオープン

東京芸術大学は、教員等の作品を展示  
販売する「藝大アートプラザ」を平成十  
七年十一月九日にオープンしました。  
藝大アートプラザは、東京芸術大学が  
企画開発した作品や、教員などの創作作  
品を展示販売することにより、教育研究  
成果を広く一般に提供し、社会に対して  
積極的に発信する試みとなります。  
また、展示販売する創作作品を通じて、  
文化芸術を社会の身近なものとして、心  
豊かな生活と活力のある社会の実現に寄  
与することを目的として設立されたもの  
です。  
東京芸術大学は、今後、社会と本学の  
新たな出会いの場として、有効に活用し  
ていきます。

#### 人二団体

今年度下半期に開催された  
主な展覧会、演奏会記録  
大学美術館  
「吉村順三建築展」  
会期 十一月十日

十一月二十五日  
入場者数 三万九七二二人

奏楽堂  
「藝大オペラ定期第五十二回  
W・A・モーツァルト 皇帝デ  
ートの慈悲 全三幕」

開催日 十月九日、十日  
入場者数 一六九〇人

藝大アートプラザのオープン時には、  
平山郁夫前学長のリトグラフ、セリグラ  
フ及び陶板画が出品されていたほか、教  
員などの創作作品とともに、教員のデザ  
インによるTシャツ、ネクタイなどが出  
品されています。

このほか美術と音楽に特化した専門書  
が置かれ、芸術に関する情報が手に入り  
やすい画期的なスペースとなっています。  
旧芸術資料館へ続く附属図書館一階部  
分を改修した藝大アートプラザは芸大教  
授陣がデザインを行い、内装を白で統一  
し、展示された創作作品が自然と引き立  
つ効果を見せています。

また、藝大アートプラザから旧東京美  
術学校本館玄関までの間はガーデンと呼

ばれるスペースがあり、敷き詰められた  
石畳はインドネシア産で、ボロブドール  
遺跡に使用された石と同様のものを使用  
していて、その色合いによって藝大ア  
ートプラザ全体の落ち着いた雰囲気を出  
しています。

休日には上野を散策し、美術館巡りをし  
てから、藝大アートプラザに立ち寄って  
いただくことを教職員一同願っています。

#### お問い合わせ

藝大アートプラザ/株式会社藝大BO(ヒオン)  
電話 〇五〇・五五・二五・二〇二  
FAX 〇五〇・五五・二五・四八六  
営業時間 一〇時〇〇分～一七時〇〇分  
平成十八年四月以降の営業時間については本学ホ  
ームページをご覧ください。か電話でお問い合わせ下さい。  
定休日 月曜日、年末年始ほか

